

学校名	廿日市市立宮園小学校
校長名	芦谷正徳
所在地	広島県廿日市市宮園1丁目1 2
H P	http://ww5.enjoy.ne.jp/~miyazonosho/
学級数	13
タイプ	

1 研究の概要

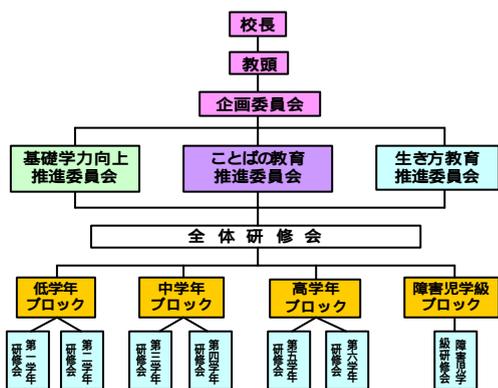
(1) 研究主題

自ら学び、考え、ともに高め合う子どもをめざして
言語技術の指導を基盤としたことばの教育の創造

(2) 研究のねらい

「言語技術」指導の視点を、授業のどの場面でのように入り入れると、教科の内容の理解を深め、本時のねらいに迫れ、より充実した学習となるのかを授業研究を通して明らかにしていく。また、日常生活において、言語技術を用いて表現できるような場や機会を工夫することにより、児童に生きてはたらくことばの力をつけていく。

(3) 研究組織・体制



(4) 研究推進の視点

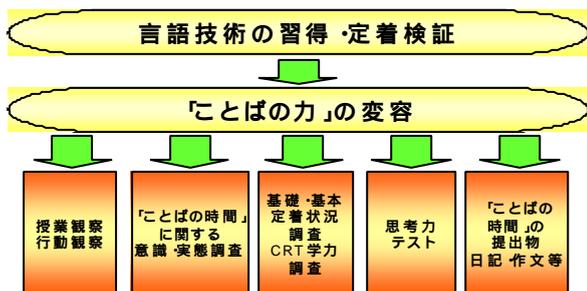
ア 児童一人一人が生き生きと学び、伝え合うことにより、自らの考えを高めていくような学習のあり方を工夫する。

- ・自ら意欲的に学ぼうとする課題設定の工夫
- ・一人学習の場の設定及び個に応じた指導の工夫
- ・言語技術の視点を取り入れた伝え合う場の工夫
- ・自己の高まりを確かめるための振り返る場の工夫

イ 「ことばの時間」における系統的な言語技術の指導内容、方法、年間カリキュラム等の研究開発を行う。

ウ 児童を取り巻く言語環境を整備する。

(5) 検証の方法



2 2年間の取組みの概要

H17年度は、「ことばの時間」において指導した「言語技術」を、国語科の言語活動の指導を通して技能まで高め、総合的な学習の時間等の実の場で活用する取組みを行った。H18年度は、「ことばの時間」における系統的な指導内容を工夫するとともに、各教科の中で「言語技術」指導を効果的に取り入れながら、授業改善に取り組んだ。

(1) 「ことばの時間」の指導の実際

- ア 学年 第4～6学年
- イ 活動名 写真の分析をしよう
- ウ つけたい言語技術 「情報を的確に分析する技術」
- エ つけたいことばの力

【情報を理解する力】
対象を分析的に受け止め、論理的に表現することができる。

【考えを伝える力】
自分の考えを客観的、具体的な理由（根拠）に基づいて述べたり、討論したりすることができる。

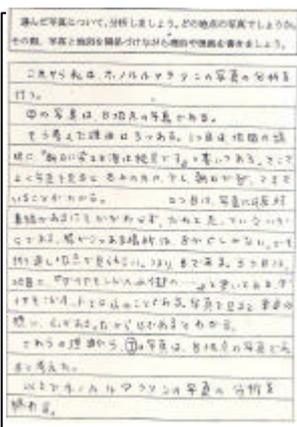
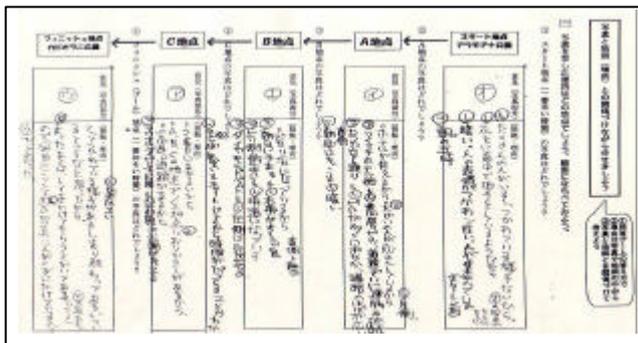
オ 目標

- ・自分の考えや意見を整理し、根拠や理由を明確にした論理的な話し方ができる。
- ・客観的な根拠や理由に基づいて、自分の考えや意見を書くことができる。

カ 指導計画（全3時間）

- 第1時 「職員室の風景」の写真を見て時間との関係を分析する。
- 第2時 「ホノリルマラソン」の写真を見て地図との関係を分析する。
- 第3時 分析したことを文章化する。

ク 児童のワークシート



ケ 考察

同じ場所の複数の写真から時間帯を分析する活動から、複数の写真と地図をもとに場所を分析する活動へとスモールステップで学習することができた。その結果、写真から読み取れる事実だけでなく、写真を比較したり地図と関連付けたりしながら、根拠を明らかにした活発な議論ができた。

